

健康

リカなど各国の大規模な調査研究を通じて難聴が認知機能の低下や脳の萎縮をまねくことが証明されています。

国際委員会が「認知症の約35%は予防可能な九つの原因により起ころうと考えられる。そのなかで難聴(9%)が最大の危険因子である」と発表しました。九つの予防可能なりスクは糖尿病や高血圧、社会的孤立、うつ、などです。なかでも、難聴は(予防可能な最も大きいリスク因子)とされています。

難聴を放置していると認知機能が低下することがわかつてきました。慶応義塾大学医学部（耳鼻咽喉科教室）小川郁（かおる）教授に「認知症」と「難聴」の関係、聞こえの改善のためにできるこ^トとを聞きました。

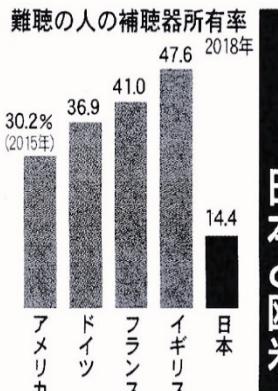
竹本恵子記者

慶應義塾大學医学部
耳鼻咽喉科教授

小川 郁
さち



難聴の放置 が 認知症の原因 に



日本補聴器工業会・テクノエイト
協会「ジャパントラック2018」

欧米で補聴器を販売するには専門知識をもつ国家資格が必要です。またヨーロッパの多くの国では補聴器購入の公的補助制度があるため個人負担がないか、少なくなっています。日本では国の公的補助の対象は障害者手帳のある高度・重度難聴者に限られています。各地で中等度難聴者を含む加齢性難聴者を対象にした公的補助を求める声が広がり、独自の制度をもつ自治体も増えています。

補聴器購入には、巨額の費用がかかるため、耳鼻咽喉科（補聴器相談室）を受診します。[医]、「診療情報提供書」を発行してもらい、認定補聴器技能者のいる販売店で購入し調整します。医療費控除の対象になります。早めの対策が大事です。

早期での補聴器使用が大事

情報がない状態に慣れて
いるので、そこにいきなり補聴器をつけ

認知機能の低下をまねじたり、考えたりする
ことが少くなり、こと考えられます。
難聴になると、コミュニケーションが減り
社会的に孤立します。そのことも、認知機能
の低下につながります。
また、認知症と難聴
に共通の原因があるとも考えられます。認知
症の大きな原因是循環

障害、血流障害です。耳は非常に小さな器官で、血管は非常に細くてつまりやすい。そのため血流障害によって聞こえが悪くなることがあります。
耳の老化は30代から始まります。加齢性難聴は高い音、例えば、子音の違い（さとうとくとうの違い）や